

【新幹線長崎ルートについて】

私は、新幹線を考える時に武雄の人は、佐賀の人は、長崎の人は、どれ位これに乗るだろうか？例えば、武雄の人が1時間で往復4,000円。それが新幹線ができ、それに乗ると何分かかかるのか？又、いくら料金になるのか？安くなるのか？高くなるのか？…。それ位のため何故作る必要があるのかなあ…。それよりも市民生活、県民生活を考えるともっとすることがあるのではないだろうか？と思ったものです。

そんな時、仲間と「夏休み、子供達と旅行に行きたかね。」と話がなり、「北海道は良いね」となりました。札幌を中心に、南に行つて小樽、函館に。東に行つて十勝温泉、阿寒湖、摩周湖、知床半島へ。北に旭川、富良野、稚内、利尻島、礼文島と…。いや、富良野から網走、知床半島と、何処でもいいね。北海道に行きたいね。となったのです。

「でも、何処へ行つても最低3泊4日やネ、列車やバスばかりで疲れるネ。」そこに1人の人が「このコースに一本新幹線ができて、1泊2日又は2泊3日で短時間で行けるコースが出来たらどうなるだろう？」と言いました。

「そりゃいいよ！まず、短時間で行けるし、新幹線になると疲れも少ないだろうし、まず、そのコースに行きたくなるよネ。」

そうなる和我々だけでなく日本中の、大げさに言えば世界中の北海道ファンが、まず早くて疲れの少ない北海道、すなわちその新幹線に近い町、観光地を選ぶだろうネ。」となったのです。

ところで今、佐賀では長崎新幹線をどうする、こうするの意見が出ています。その中で確かに経費を考えると、これだけの巨額の金をかけてまで本当に必要なのだろうか？それよりもっと他の事も大事なのではないだろうか？それもわかります。でも、もし新幹線長崎ルートが出来なくなった時の20年後、30年後考えて見て下さい。「俺どまあ、死んどろ。」は論外です。

鹿児島線が全線開通し、八代辺りから宮崎、大分へ、そして北九州、小倉へとスーパー特急が走り、大分から四国に渡りグルーッととまわり、岡山へ、と国の力を借りての新しい鉄道網の整備が完了しています。

一方、新幹線の通らない赤字の長崎本線、佐世保線、JR九州はどんな経営努力で地域振興を考えるのでしょうか？…あまり望みはありません。

国も「あんたの地域は長崎新幹線はいりません。このままでいい。」と言ったじゃありませんか？と。それならば、あなたの地域(佐賀県、長崎県)の税金を安くしましょうはならないと思うのです。それと同時に、今の原油高は一過性とは思えないです。ガソリンは高くなることはあっても安くなることは少ないと思うのです。そう考えると、今からは20年後30年後は鉄道を中心とした公共交通が人や物の流れる中心になる可能性が十分考えられます。

それともう1つ、私は佐賀の人に長崎新幹線のメリットを考える時に距離の短い県内ルートには是非、通常以上の格安な新幹線乗車の定期券の販売を希望するのです。福岡への通学、通勤圏にはいい佐賀県には人や家が増え、それと同時に地域振興にも結びつくと思うのです。

それ等を考え、私は将来に悔いを残さないためにも今、長崎新幹線への決断を希望するものです。

(武雄市朝日町黒尾 農業 山口良広)

こんにちは。
佐賀県知事の古川 康です。
メールありがとうございます。

北海道に新幹線ができたというお話は、地域の魅力と交通ネットワークの整備が相乗効果を発揮して、他の地域から見たときの魅力度が大きくアップするという、分かりやすい例だと思います。

長崎ルートについても、今は、需要予測の信頼性が議論になっていますが、実際に何人の人が新幹線を使っていただけなのかということとともに、新幹線が通ることで、他の地域の人を感じる佐賀県の魅力度が高まるという効果があるということについても、いろんな人に知っていただきたいと思っています。

また、「九州新幹線長崎ルートが出来なくなったときの20年後、30年後考えてください。」というご意見については、現在、長崎ルートに批判的なみなさんにも考えていただきたいことです。

私としては、長崎ルートのメリット・デメリットがあるとは思いますが、ただ、現状のままでいいのか、また、鹿児島ルートが全線開通した後に、交通ネットワークの充実が図られた南九州と比べて、西九州の相対的な魅力度が低下したままでいいのか、ということを考えながら、やはり、長崎ルートを整備すべきという判断をして推進しています。

一方、並行在来線沿線にお住まいのみなさんが感じておられる不安や憤りについても、十分に分かっているつもりです。だからこそ、経営分離に反対されている「JR長崎本線存続期成会」のみなさんとも誠意を持って協議をし、また、沿線住民のみなさんに対する説明も丁寧に行うこととしています。

そのような協議や説明を重ねるうちに、沿線住民のみなさんの間に、新幹線をマイナス面でのみとらえるのではなく、新幹線を契機として一緒に地域振興や地域の魅力度を高めようとする、プラス指向の気運が盛り上がってくることを期待しています。

また、「通勤・通学に便利な格安の定期券の販売を希望します」というご意見についてですが、

定期券の販売額を決定するのはJR九州の判断となりますが、佐賀県は福岡都市圏に近いという地の利があるので、福岡都市圏への新幹線通勤も十分可能です。その利便性が図れるよう新幹線駅に大規模駐車場を設置するようなことも大切だと考えています。

また、県としても、そのような地域の取り組みを積極的に支援していきたいと考えています。

蒸し暑い日が続きますが、どうぞお身体ご自愛ください。

【関係課】

佐賀県庁交通政策部空港・交通課

Tel 0952-25-7104

E-mail kuukou-koutsuu@pref.saga.lg.jp